

2007年10月

液晶ポリマーの増強について

住友化学は、このほど、液晶ポリマー(以下、LCP 商品名:「スミカスーパー-LCP」)のニートレジンの生産能力を、7,000トン/年から9,200トン/年へ増強するとともに、中国においてコンパウンド設備を新設することといたしました。

LCP は、高い耐熱性と優れた薄肉流動性を有するスーパーエンジニアリングプラスチック(以下、スーパーエンプラ)で、その特性を生かし、さまざまな電子部品に使用されています。中でも「スミカスーパー-LCP」は、コネクタについて、ノートパソコン、携帯電話用途の需要が高い伸びを示していることに加え、軽量化・微細化の要求にともない、それまで使われていた樹脂からの置換えが進んでいます。また、液晶ディスプレイバックライト用・光ピックアップ用のポビン、車載用リレー、レーザープリンター用ヒータホルダーなどの電子部品用途でも需要が拡大しているとともに、他の自動車部品やLED 部品向けなどでの新規採用も増えています。

住友化学は、昨年、愛媛工場において能力増強を行い、グループ全体でニートレジン7,000トン/年の生産体制を構築いたしました。さらなる需要の伸びに対応するため、このたび、グループ会社で生産の委託先である田岡化学工業株式会社において、ニートレジン設備の増強を行うとともに、住化電子材料科技(無錫)有限公司においてニートレジンおよびコンパウンドの設備を新設することとしたものです。設備完成後のニートレジン生産能力は、9,200トン/年となり、コンパウンド換算での約14,000トン/年は、2009年の全世界需要予測の約30%に相当する(当社推定)ものと考えています。

顧客である電子部品メーカーの多くは、製造拠点を中国に設けていることから、その材料であるLCP についての最大需要地は中国となっています。住友化学は、このたびの住化電子材料科技(無錫)における設備新設により顧客への安定供給を行うことに加え、本年10月には、住化電子材料科技(上海)有限公司の工場内に「カスタマーサポートセンター」を開設し、スピーディーなサポート体制の実現を図ってまいります。住友化学は、こうした中国での事業展開を軸に、今後も、スーパーエンプラ事業を一層強化していく方針です。

以上

【設備投資概要】

田岡化学工業株式会社

- ・LCP ニートレジン前工程設備増強（2,200トン/年）08年末完成予定
- ・LCP ニートレジン後工程設備増強（500トン/年）08年末完成予定

住化電子材料科技（無錫）有限公司

- ・LCP ニートレジン後工程設備新設（1,800トン/年）09年1月完成予定
- ・LCP コンパウンド設備新設（2,400トン/年）09年1月完成予定

以上

<ご参考>

【田岡化学工業株式会社 概要】

- (1) 設 立 1934年10月
- (2) 所 在 地 大阪市
- (3) 資 本 金 1,572百万円
- (4) 当社出資比率 50.2%
- (5) 事 業 内 容 染料、染料中間体、医農薬中間体、記録材料、接着剤、可塑剤、
化成品の生産・販売
- (6) 従 業 員 280名
- (7) 社 長 加藤 壽郎

【住化電子材料科技（無錫）有限公司 概要】

- (1) 設 立 2004年7月
- (2) 所 在 地 中華人民共和国江蘇省無錫市
- (3) 資 本 金 146百万米ドル
- (4) 当社出資比率 100%
- (5) 事 業 内 容 液晶用偏光フィルム、拡散板の生産・販売
- (6) 従 業 員 996名
- (7) 社 長 宮竹 賢一